

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
430006	X-13/31-B-2-430006	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
行動科学	小宮山 智志	2	後期	【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	3年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	3年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年

授業目的

“現実”から、「なぜ～だろうか」という“問い”を考えて、つい見逃してしまいがちな人間行動のしくみに目を向けて原因を推理し（仮説を考え）、今後の行動や企画・対策を考えることを学びます。これは人類に残された最大の仕事です。覚えること、解答を計算することはコンピュータには勝てませんが問いや仮説を考えることは、いまのところ人類にしかできません。

仕事や人生で、自分や愛する人々のことを真剣に考え“現実”に背を向けずに行動を決定するときに、私が実践してきた、そして人類がたどり着いた“ある一つの方法（観察から仮説を構築し実証すること）”をこの講義で実際に皆さんに体験してもらいます。皆さんの先輩が自分の関心に基づいて、問い・仮説を真剣に考えた卒業論文を題材にしています（皆さんの関心に合わせて、題材とする論文は変更されることがあります）。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】 楽しみの社会学：本講義の射程とスケジュール等について * 毎時間、グループワークまたは個人ワークを行い、授業内でレポートをまとめます。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第2回 【授】 “名探偵コナン”を超えろ（1）：人間行動の原因を推理する。推理小説を用いながら、現象を観察し、その原因・過程について仮説を構築し、検証方法を考えることを、第2～4回までかけて学びます。この回は観察すること、仮説の構築について映像資料を用いて学びます。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第3回 【授】 “名探偵コナン”を超えろ（2）：先週観察した事象について、仮説を構築することを学びます。さらに仮説から予想を立てるインプリケーションについて学びます。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第4回 【授】 方法編まとめ：仮説・インプリケーションを復習します。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第5回 【授】 なぜ赤目のキャラクターの印象は変化したか。 5～10回は先輩の卒業研究を例に、観察を行い、複数の仮説を構築し、検証方法を考えることをトレーニングします（題材については皆さんの関心・理解などに応じて変更することがあります）。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第6回 【授】 なぜなビットはかわいくないのか：現実の問題に対する仮説構築～卒業研究を例に～ 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第7回 【授】 なぜ私たちは夜更かししてしまうのか？：現実の問題に対する仮説構築～卒業研究を例に～ 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第8回 【授】 レストランでの披露宴は流行するのか：現実の問題に対する仮説構築～卒業研究を例に～ 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p>	<p>第9回 【授】 SNSによって私たちは何が変わったのか：現実の問題に対する仮説構築～卒業研究を例に～ 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第10回 【授】 仮説構築編まとめ：仮説を立てる際の経験則を振り返ります。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】ポータルで配布した資料を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第11回 【授】 本人も気が付いていない原因の探り方：『デスノート the Last name』（日本テレビ）のシーンを参考に、人々の行動の背後に潜む傾向性を探ることを学びます。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】『デスノート』を、予習してきてください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。</p> <p>第12回 【授】 最終レポートについてのグループワーク(1)：最終レポートについて、グループワークで確認・検討します。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答し、最終レポートを執筆してください。</p> <p>第13回 【授】 『ヒューマン なぜ人間になれたのか』（NHKスペシャル） NHKの番組をもとに、ホモサピエンスが、力の強いネアンデルタール人に滅ぼされずに、現在の進化を手に入れることができたのかを考えます。いままでも学んできた仮説構築と、社会的ジレンマの克服がここで結びつきます。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答し、最終レポートを執筆してください。</p> <p>第14回 【授】 最終レポートについてのグループワーク(2)：各自が執筆してきた最終レポートを題材に、グループワークを行います。お互いの最終レポートを参考に、仮説構築力を高めてください。 【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答し、最終レポートを改良してください。</p> <p>第15回 【授】 まとめ 【前・後】【必要な時間：4.5時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答し、最終レポートを仕上げてください。</p> <p>第16回 【授】 レポートの提出と、やむを得ない事情で欠席した方のための補講を実施します（欠席分のグループワークの評価を補うことができます）。 【前・後】【必要な時間：0.1時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答してください。</p>
--	--

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	5	5	5	5	5	10	35
宿題・授業外レポート	5	5	5	5	5	40	65
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

グループワークまたは個人ワーク（35%）：自分の頭（知識理解・思考判断）と他人の頭をともに活用することを学びます（協調指導力・発表表現・関心意欲）。グループで相談しますがレポートは個人で執筆します（その他：オリジナリティ）。

最終レポート（65%）：オリジナリティ（その他）と論理的思考力（知識理解・思考判断）が問われます。授業内で他者からコメントを得られる機会を設けます（協調指導力・発表表現）。テーマ選びに関心意欲が関連します。

グループワークレポートは毎回、翌週に採点結果をお知らせし、全体のコメントを授業中に行います。最終レポートに関しては、事前に評価基準をお示しします。したがって上記の成績評価割合、自分のグループワークの合計点と成績から、自分のレポートが評価基準のどの程度のレベルに達したのか、わかりますが、さらに全体のコメントをポータルで送信すると共に、自分のレポートについてコメントが欲しい方には、個別に対応します。

教科書参考書

参考文献：チャールズ・A・レイブ、ジェームズ・G・マーチ（佐藤嘉倫[ほか]訳）『社会科学のためのモデル入門』ハーベスト社 1991年
小林淳一/木村邦博編『考える社会学』ミネルヴァ書房 1991年

受講に当たっての留意事項

- 公欠の場合、第16回の個人・ワーク・グループワークを行うことで、欠席した分の個人ワーク・グループワークを補うことができます。
- 授業中、私が説明しているときは、誰も話してはいけません。小声でもダメです。私が聞こえなくてもあなたの周りの人が迷惑です。個人ワーク・グループワークのときは、どんどん周りの人と話してください。友達の外なアイデアを楽しみ、また友達を楽しませてあげてください。
- 授業中に、関係のないことを行っている、盗用・剽窃を行うなどの不正・不法行為が認められた場合、直ちに以後の出席を禁止します。

学習到達目標

- 観察した結果を矛盾なく説明できる仮説構築力を身につけてください（グループワーク2～10回・最終レポート）。
- 一つの現象について複数の仮説を構築することができる（グループワーク3～10回・最終レポート）。
- 自分の関心に基づいて問いを見つける方法を身につけてください（グループワーク5～13回・最終レポート）。

JABEE

(2017年度生以前)関連する学習・教育到達目標：H

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習